

常磐文藝

琴のしらべ 夏 陣
 艶ちやんお家も 戸をしめた 喜美ちやんお家も 戸をしめた
 〇 あたりはひつそり 音もない
 〇 羨しは遠い 夢のた國を あるいてた
 〇 ハット思つて 目がさめた
 〇 かはいたさむい 冬の風
 〇 スーツ通して 響へて来た
 〇 花季のしらべ いたましい 花季のしらべ かなしさう

近く着本

國際 新年號 寫眞 新年號 附録「世界漫畫鳥瞰圖」を添付 一部全書買 至急御申込み 磐城 代理部 (電話五六四番)

△土地建物

賣買并ニ是ニ關スル萬般ノ御相談ニ應ズ

△床板、床縁 落掛

澤山新荷着 ◎大谷石 本場一等 品寸法御望次第 磐城建物 株式會社 平町五丁目 電話五一八番

製材機械 人魚印丸鋸

自動注油メタル、プーリー在庫 ゴムベルト、バラタベルト 平町月見町 佐藤鐵工所 電話三六二番

價定 一部金貳錢 月極 廣 五部十三字詰 一行五十錢 日刊休 祝日の翌日 所刷印 福島縣石城郡平町 磐城新聞社印刷部 編輯人 川崎文治 印刷人



二十二年一月廿一日夕刊

銘白菊 酒沖正宗 味噌醬油

平町字材木町 (元矢吹酒店跡) 玉川屋支店 電話四二八番 從來三丁目新道通に 開業致居候處今回營業擴張の爲め前記の如く元矢吹酒店跡に移轉開業仕候間倍舊の御最願上候

粹で上品な下駄を 御求めの際は 是非

三井ハギ店

特價大賣出し

- 友仙毛 斯小巾 十 八 錢
- 白時赤ネル一丈 一圓三十錢
- 木綿裏地 九十五錢
- 遠州正紺縞 一圓十八錢
- ニコニコ縞 一圓五十五錢
- 其他種々

大々の廉賣 鹽屋 吳服店

株式買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候 銘柄 拂込 時價

磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實銀	三〇〇	三〇〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一一五	一一五
農工銀行	二〇〇	二六〇
同 新	一五〇	二〇〇
日七銀行	五〇〇	五三〇
同 新	一一五	一四五
七七銀新	一一五	九五
郡山電氣	五〇〇	三七五
同 新	二五〇	一七五
只見川電	一一五	六〇
植田水電	一一五	一三五
好間水電	一一五	一三五
磐城建初	一一五	五五
磐城製菓	二〇〇	六五
平信託	五〇〇	四九〇
磐城勸業	一一五	一三五
磐城物産	三〇〇	二五〇
平製氷	二〇〇	二二〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
小名商事	一一五
小名水産	一一五
小田炭礦	二五〇	五五
磐城炭礦	五〇〇	三七五
同 新	二二五	一五〇
磐城セメ	五〇〇	九一〇
同 新	一七五	三七〇

丸登株式會社 平町田町電話三三三番 川添房二郎

現代文化と 偶像崇拜 (一)

寄書 永久保 夏陣 社會改造の要求とそれにとりて不安とは全世界を風靡しつつあることは何人も疑ふことは出来ないのであらう。三越の女店員までが其の肉を賣つたメ云ふ事實文化は日本に依らず全世界を通じて斯くまで爛熟し切つたのである。學者が街頭に立つて社會改造の聲鐘を而かも亂打するのは無理もない必然な行動だ。

斯様に全世界は學者によらず全人類が社會改造の氣運に向ひつゝある。今又私の特に日本無窮の生の爲に偶像破壊主義を提唱し其れが由來する所以を説かんとするも其所に於て見逃すべからざる根據があるのだ。特にそれが郷土文化開發に努力する場合吾々の痛感することであるから此の偶像崇拜の思想に就いて論じて見たい。勿論私は何等の思想もなく又た何等の参考書もないから論理的にそれを説明出来ないことは言ふまでもない。之れが論理的批判は他日に譲り此場合は唯

常識的の立場から考察して見たいと思ふ。 然らば偶像とは如何なるものか元々此の語義は神の肖像の意であるが近代は習慣的思想の符號として用ひ

募集 文藝其他一般 投稿を歓迎します

から總ての習慣的思想の總稱でないことは勿論である 習慣的思想の中にも永遠に創造的であつた又た變化的な思想もある



震災地の需要激増で 平地方は石炭飢饉

貨車逼迫が原因 常磐炭の夏季輸送減が原因

平町を始め地方の需要者に對して石炭の廻りが極めて悪い、折柄の寒さ時に困るものが多いが其因は矢張り震災影響で鐵道輸送の滯滞から従来の九州炭の東京入りが減り少なくなつたに加へ東京に於ける石炭の需要は反つて震災前よりも多いので、本年の常磐炭夏季輸送が充分に行はれなかつたので東京方面の貯炭も缺乏して居る事なども因をなし殊に昨今に於ける常磐炭の東京方面著く激増し價格も相應騰貴したので山元蘆山主は其輸送先を東京方面にのみ注ぎ居り、搦て加へて貨車逼迫と来て居るので地方に於ける石炭需要者に

飛機旋廻

原の町へ飛揚 土浦原の町間無電試験の飛行機一臺本日午前九時半頃平町の上空を旋廻して原の町に飛揚し去つた

農産品評會

平役場の協議 既報平町外六ヶ村聯合生産物品評會開催の件に關し廿四日午前十時から平町役場にて協議會を開くと

米實收

平町の... 平町に於ける米の實收高は別百十五町歩、收穫高二千六百五十五石、價格六萬二千廿六圓であつて一段歩の收穫高は米が一石八斗、糯米が一石七斗、一石の價格は

磐崎放牧地問題で 消防幹部が總辭職

誠意を疑られて激怒し 本日辭表を提出

石城郡磐崎村大字藤原字田代地内の國有林野六十町歩を當該官廳及び村長御代專藏氏は上遠野深山田へ放牧地として提供す、べき意圖を有し村民の一般は水源涵養上一層殖林を濃密ならしめて保安林的の設備を施さんとする者多く茲に意見の衝突

平衛生會

役員改選其他 平衛生會は役員改選並に決算報告に關し廿三日午後六時から役場議事室にて開會の筈

湯本の娼妓

自廢許さる 石城郡湯本遊廓新葛樓娼妓浦成津藤はるよ(二三)が去る十七日朝主人の慮遇

不平受付

新川のゴミ 毎朝毎夕新川に捨てるゴミは横んで山を爲して居ます、是れでは河床が淺くなるばかりで悪水豫防組合の折角な事業も水泡に歸する事となりませぬか町當局は何んぞか善後策を考へて戴きたいもので

馬の死屍を 發掘し食ふ

科料二圓で 石城郡川前村大字前字字橋立炭造業原田吉松(三九)同木炭商番頭小田藤健吉(三七)同木炭造吉原源三郎(四七)同字中堂同業鈴木傳四郎(三一)同村同業中井六太郎(四六)同村同業同業吉成常治(三八)の六名は去る十日午後七時頃埋葬した斃馬の死屍を掘り起して其肉を食つた事が發覺し本日平署にて科料二圓宛言渡さる

眞面目な 問題

胎兒の發育 た大切な道具として胎盤がある、胎盤は胎兒に取つて胃であり肺であるのだから最も重要な役目を持つて居る、胎盤が子宮壁から剥れやうものなら胎兒は助かりつこはない、だから分娩完成後に始めて剥離して、所謂後産となつて出て来るのである。

平町人事

- ▲婚姻
 - △北海道 小樽市飯塚藤吉
 - (五七) 南町大河原ハナ
 - (六〇)
 - △双葉郡 富岡町秋田一
 - (一一) 長橋町鈴木ヤス
 - (一一)
 - △名古屋市 木金清太郎
 - (三〇) 一丁目篠塚ヒデ
 - (一一)
 - △材木町 片寄正壽(二四)
 - 材木町緑川レイ(二〇)
 - △一丁目 酒井秀治郎(五)
 - (二) 石城郡好間村大字中好間字川原安瀬ミサヲ
 - (三〇)

常磐片々

磐崎消防幹部が放牧地問題の調停に飛び込んだが紛糾の火の手益々揚る

御筒で消す火の様な譯には行かず遂に手を焼いて總辭職

平地方は石炭の飢饉、ストープ腹を減らす

六名が馬の死屍を發掘して喰ふ

チヨイト出来ない藝當

年二割配當案

廿日開會年二割配當案を可決し取締役吉永仁藏、阿部幸之助兩氏補缺として吉永

小松幹夫公判

前縣會議員小松幹夫に關する背任及び詐欺事件の第三回公判は本日午前十時半から平支部に於て白井才裁長係り小野

平裁判だより

禮二阿部政次兩氏選任さる 當期純益金廿二萬二百五十二圓▲前期繰越十二萬七千九百八十八圓▲合計卅四萬八千七百七十八圓▲此處分法定積立金一萬一千圓▲五圓▲別途積立金二萬圓▲職員及用人退職慰勞基金一萬一千圓▲株主配當年二割十三萬八千七百五十圓▲固定損失補填一萬三千三百五十圓▲後期繰越十三萬一千五百七十圓